

宮城県登米総合産業高等学校 [全日制課程 (農業科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県登米総合産業高等学校は、「高志、挑戦、創造」を校訓とし、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技術、技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また、本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し、地域を愛し、郷土の発展を願い、課題解決への探究心を追いつける学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え、高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。
- 専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を的確に活用し、主体的、創造的に学んで行ける実践力を育成します。
- 職業人に必要な倫理観や規範意識、自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。
- 健やかな心身を育み、地域社会と積極的に関わり、郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎学力の定着を重視し、基礎・基本の学習に力を入れます。
 - 授業を中心に中学校までの内容を振り返り、本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。
- ICTを積極的に活用した授業を行います。
 - 情報リテラシーを身に付け、社会の変化に対応できる力を養うとともに、個々の学習状況に応じた学びを実施します。
- 各学科の専門的な深い学びを実現していきます。
 - 確かな知識・技能を養い、それらを相互に関連付けてより深く理解したり、課題の解決策を考えたり、学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。
- 学科や地域と連携した授業を行い、自ら考え、心を豊かにし、地域の新しい未来に必要なとされる人材育成を行います。
 - 学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して、地域産業に興味や関心を持ち、自己の進路実現と結び付け、産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒
- 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 部活動や校外活動等に全力で取り組み、入学後も粘り強く活動できる生徒
- 農業の分野に興味・関心があり、専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして、将来、農業分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	農業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、情報技術科、商業科、福祉科	
	共通選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者（30人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 625点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 100点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望 (4)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 80点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米総合産業高等学校 [全日制課程 (機械科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県登米総合産業高等学校は、「高志、挑戦、創造」を校訓とし、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技術、技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また、本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し、地域を愛し、郷土の発展を願い、課題解決への探究心を追いつける学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え、高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。
- 専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し、主体的、創造的に学んで行ける実践力を育成します。
- 職業人に必要な倫理観や規範意識、自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。
- 健やかな心身を育み、地域社会と積極的に関わり、郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎学力の定着を重視し、基礎・基本の学習に力を入れます。
 - 授業を中心に中学校までの内容を振り返り、本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。
- ICTを積極的に活用した授業を行います。
 - 情報リテラシーを身に付け、社会の変化に対応できる力を養うとともに、個々の学習状況に応じた学びを実施します。
- 各学科の専門的な深い学びを実現していきます。
 - 確実な知識・技能を養い、それらを相互に関連付けてより深く理解したり、課題の解決策を考えたり、学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。
- 学科や地域と連携した授業を行い、自ら考え、心を豊かにし、地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。
 - 学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して、地域産業に興味や関心を持ち、自己の進路実現と結び付け、産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒
- 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 部活動や校外活動等に全力で取り組み、入学後も粘り強く活動できる生徒
- 機械の分野に興味・関心があり、専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして、将来、機械の分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科、電気科、情報技術科、商業科、福祉科	
	共通選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者（30人）を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 625点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
	配点	3 面接 100点 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望 (4)その他 4 観点：(1)態度 20点 (2)表現力等 80点	
		選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県登米総合産業高等学校 [全日制課程 (電気科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県登米総合産業高等学校は、「高志、挑戦、創造」を校訓とし、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技術、技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また、本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し、地域を愛し、郷土の発展を願い、課題解決への探究心を追いつける学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え、高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。
- 専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し、主体的、創造的に学んで行ける実践力を育成します。
- 職業人に必要な倫理観や規範意識、自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。
- 健やかな心身を育み、地域社会と積極的に関わり、郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎学力の定着を重視し、基礎・基本の学習に力を入れます。
 - 授業を中心に中学校までの内容を振り返り、本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。
- ICTを積極的に活用した授業を行います。
 - 情報リテラシーを身に付け、社会の変化に対応できる力を養うとともに、個々の学習状況に応じた学びを実施します。
- 各学科の専門的な深い学びを実現していきます。
 - 確実な知識・技能を養い、それらを相互に関連付けてより深く理解したり、課題の解決策を考えたり、学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。
- 学科や地域と連携した授業を行い、自ら考え、心を豊かにし、地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。
 - 学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して、地域産業に興味や関心を持ち、自己の進路実現と結び付け、産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒
- 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 部活動や校外活動等に全力で取り組み、入学後も粘り強く活動できる生徒
- 電気の分野に興味・関心があり、専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして、将来、電気分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、情報技術科、商業科、福祉科	
	共通選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者（30人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 625点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 100点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望 (4)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 80点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米総合産業高等学校 [全日制課程 (情報技術科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県登米総合産業高等学校は、「高志、挑戦、創造」を校訓とし、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技術、技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また、本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し、地域を愛し、郷土の発展を願い、課題解決への探究心を追いつける学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え、高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。
- 専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し、主体的、創造的に学んで行ける実践力を育成します。
- 職業人に必要な倫理観や規範意識、自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。
- 健やかな心身を育み、地域社会と積極的に関わり、郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎学力の定着を重視し、基礎・基本の学習に力を入れます。
 - 授業を中心に中学校までの内容を振り返り、本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。
- ICTを積極的に活用した授業を行います。
 - 情報リテラシーを身に付け、社会の変化に対応できる力を養うとともに、個々の学習状況に応じた学びを実施します。
- 各学科の専門的な深い学びを実現していきます。
 - 確実な知識・技能を養い、それらを相互に関連付けてより深く理解したり、課題の解決策を考えたり、学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。
- 学科や地域と連携した授業を行い、自ら考え、心を豊かにし、地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。
 - 学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して、地域産業に興味や関心を持ち、自己の進路実現と結び付け、産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒
- 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 部活動や校外活動等に全力で取り組み、入学後も粘り強く活動できる生徒
- 情報・電子技術の分野に興味・関心があり、専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして、将来、情報・電子技術の分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	情報技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、電気科、商業科、福祉科	
	共通選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人（募集定員の 50 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者（30人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 625点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 100点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望 (4)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 80点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米総合産業高等学校 [全日制課程 (商業科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県登米総合産業高等学校は、「高志、挑戦、創造」を校訓とし、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技術、技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また、本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し、地域を愛し、郷土の発展を願い、課題解決への探究心を追いつける学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え、高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。
- 専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し、主体的、創造的に学んで行ける実践力を育成します。
- 職業人に必要な倫理観や規範意識、自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。
- 健やかな心身を育み、地域社会と積極的に関わり、郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎学力の定着を重視し、基礎・基本の学習に力を入れます。
 - 授業を中心に中学校までの内容を振り返り、本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。
- ICTを積極的に活用した授業を行います。
 - 情報リテラシーを身に付け、社会の変化に対応できる力を養うとともに、個々の学習状況に応じた学びを実施します。
- 各学科の専門的な深い学びを実現していきます。
 - 確実な知識・技能を養い、それらを相互に関連付けてより深く理解したり、課題の解決策を考えたり、学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。
- 学科や地域と連携した授業を行い、自ら考え、心を豊かにし、地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。
 - 学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して、地域産業に興味や関心を持ち、自己の進路実現と結び付け、産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒
- 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 部活動や校外活動等に全力で取り組み、入学後も粘り強く活動できる生徒
- 商業の分野に興味・関心があり、専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして、将来、商業分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	商業科	募集定員	40人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、電気科、情報技術科、福祉科	
	共通選抜		
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者(30人)を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 625点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 100点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望 (4)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 80点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米総合産業高等学校 [全日制課程 (福祉科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県登米総合産業高等学校は、「高志、挑戦、創造」を校訓とし、高い志をもって何事にも果敢に挑戦し、専門的な技術、技能と豊かな人間性を身に付け、独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また、本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し、地域を愛し、郷土の発展を願い、課題解決への探究心を追いつける学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え、高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。
- 専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し、主体的、創造的に学んで行ける実践力を育成します。
- 職業人に必要な倫理観や規範意識、自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。
- 健やかな心身を育み、地域社会と積極的に関わり、郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 基礎学力の定着を重視し、基礎・基本の学習に力を入れます。
 - 授業を中心に中学校までの内容を振り返り、本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。
- ICTを積極的に活用した授業を行います。
 - 情報リテラシーを身に付け、社会の変化に対応できる力を養うとともに、個々の学習状況に応じた学びを実施します。
- 各学科の専門的な深い学びを実現していきます。
 - 確実な知識・技能を養い、それらを相互に関連付けてより深く理解したり、課題の解決策を考えたり、学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。
- 学科や地域と連携した授業を行い、自ら考え、心を豊かにし、地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。
 - 学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して、地域産業に興味や関心を持ち、自己の進路実現と結び付け、産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも高い志をもって、主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒
- 学習成績が良好で、入学後も日々の授業を大事にできる生徒
- 部活動や校外活動等に全力で取り組み、入学後も粘り強く活動できる生徒
- 介護・福祉の分野に興味・関心があり、専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして、将来、介護・福祉分野の担い手や関連産業への就職、上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	福祉科	募集定員	40人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、電気科、情報技術科、商業科		
	共通選抜			
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)		
	学力検査:調査書	6 : 4		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。			
	特色選抜			
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)		
	配点	1 調査書	390点	合計 890点
		2 学力検査	500点	
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする		
選抜方法		・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の150%の範囲に含まれる者(30人)を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし			

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計 625点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
		3 面接	100点	
		1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望 (4)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 80点		
選抜方法		上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。		